

# 日本政治学会 会報

## The JPSA News

No. 21

MAY 1991

### 年報政治学の改革について

常務理事 加茂 利男

#### 背景と経過

会報前号(90年12月)所載の山口理事長のあいさつでも述べられたとおり、激動の世界のなかで日本政治学会もさまざまな「リストラクチャリング」の課題に直面しております。このたび理事会は、1991年度予算で新たに「国際交流基金」を創設しました(後掲学会ニュース・91年度予算参照)が、これは国際化の進展に対応して本学会の国際交流の枠を少しでも広げることをめざした一つの改革です。理事会ではまた、研究会企画のあり方等についても議論が起こっています。

これらと併せて前理事会以来の大きな懸案となってきたのが、年報問題です。90年度総会で内田前理事長が報告されたように、「年報政治学」は、近年定価の高騰と発行部数減少の悪循環に悩まされており、このままでは年報の発行じたいが危ぶまれる状況となっております。そこで前理事会は、年報の学会一括購入・会員配布方式への転換と、そのために必要となる会費値上げの方針を打ち出し90年総会に報告されたわけです。今期理事会では前理事会方針を受けて年報改革委員会(委員長山口理事長)を設け、具体的な改革案を検討してまいりましたが、90年度第6回理事会(91年3月)で大筋の決定をみるに至りました。会員の皆様には本年度総会でもご報告し、ご了承をお願い致しますが、それに先立って改革の概要を会報紙面を借りてご報告申し上げます。

#### 発行方式の改革

1. 1992年度より、年報は学会で一括買い上げし毎年度定期(1~2月)に会員全員に配布する

方式に改める(岩波書店からの刊行継続を前提)。

2. これに伴い、1992年度より会費を改訂する。一般会員の年会費は、7500円(年報の会員1人当り経費約4000円に現行会費3,500円を加えた額)に改める。ただし大学院生は5,000円とする。

#### 編集方式の改革

1. 発行方式の改革に伴い、編集方式を会員に開かれたものとする。
2. 1の趣旨に基づき94年度年報より次のような構成に改める。
  - ① 中特集Ⅰ(年報研究会成果および年報研究会と同一テーマの公募論文)
  - ② 中特集Ⅱ(中特集Ⅰとは別テーマでの公募論文)
  - ③ 研究会報告要旨
  - ④ 学会展望(現行文献リストに代える)。
3. 編集体制を強化するため、年報委員は任期2年・半数交代とする。但し年報委員長となる者の委員としての任期は3年とし、1・3年次目は副委員長を務めるものとする。
4. 公募論文審査のため年報委員会の下に審査委員会(レフリー)を設ける。匿名性を保持するため審査委員の氏名は公表しない。
5. 会員の負担増をさけるため、科学研究費刊行助成の申請や年報のボリューム・定価の抑制などに努める。

#### 経過措置

1. 新会費・新配布方式は92年度から、新編集方式は94年度年報からの実施となるが、92・93年度

## 学 会 ニ ュ ー ス

- 年報では発行時期の厳守、ボリュームの抑制、文献リストの学界展望への切り換えなどをはかり、新編集方式への移行条件を整える。
2. 年報の合理的経営をはかるため、92年度より年報会計を設けることとし、当初財源として一般会計資産から200万円を繰り込む。
  3. 新方式については発足後3年程度で、財政面

の問題を含めその適否を点検する。

以上が改革の概要です。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なおご意見等がございましたら、事務局または最寄りの理事までお寄せ下さい。

## 本号の主なニュース

1. 91年度総会研究会要項決定 ----- P.2,7  
・日 時：10月5(土)・6(日)日  
・会 場：明治大学和泉学舎  
・研究会プログラム：7頁参照
2. 理事選挙要項決まる ----- P.4  
投票は6.3～7.3(予定)
3. 年報政治学の改革方針まとまる ----- P.1,4
4. IPSA世界大会に有賀・蒲島  
・佐々木3理事の派遣を決定 ----- P.5
5. 学術会議会員候補に田口  
・山口理事を選出 ----- P.5
6. 91年度予算を決定 ----- P.4,6  
・国際交流基金を創設  
・研究会報告者等  
謝礼(会員分)を廃止
7. 91年度各委員会委員決まる ----- P.3～5
8. 92年度総会は琉球・沖縄国際大学 ----- P.4  
93年度総会は大東文化大学で開催

## 1990年度 第5回理事会記録

12月1日(土)、午後1時30分から中央大学駿河台記念館において1990年度第5回理事会が開催され、以下の事項が協議・報告された。

(協議事項)

1. 1991・1992年度総会・研究会日程の件  
1991年度総会・研究会(明治大学和泉校舎)を1991年10月5日(土)、6日(日)に開催することが決定された。1992年度総会・研究会の日程については開催校である琉球大学と引続き協議することとなった。
2. 日本学術会議候補者及び推薦人選出の件  
学術会議候補者の選出については前回の方式を踏襲し、顧問および理事を被選挙権者とし、理事を選挙権者とする投票(郵送方式)で行うことが決定された(第1回投票は12月25日。同点の場合第2回投票は明年1月18日)。選挙管

理委員に加茂常務理事、土倉理事、中谷理事が選出された。推薦人の委嘱も前回と同じ方式をとることとなった。

### 3. 年報改革の件

加茂常務理事から年報改革委員会において、①年報を会員配布方式に転換すること、②それに伴って会費を値上げすること、③年報の構成を中特集と公募論文を中心にしたものとする、④年報委員会など編集体制の強化をはかること、などについて検討中であるとの報告があり、種々審議の結果、次回理事会で方針を決定することが了承された。なお現在の文献リストは1992年度年報より学界展望に変更することが決定された。

加茂常務理事から、年報改革委員会の経費について予備費から2万円支出することが提案され、了承された。

4. 新入会員承認の件

下記の者の新入会が承認された。

河野勝、佐藤誠、前田浩

5. 次期理事会の件

1991年3月23日(土)に大阪市立大学で開催されることが了承された。

(報告事項)

1. 委員会報告

(1) 企画委員会

(1991年度)

1991年度企画については次回理事会で決定することが了承された。

企画委員：五百旗頭真(神戸大学)、伊藤光利(名古屋市立大学)、川人貞史(北海道大学)、北岡伸一(立教大学)、久保文明(慶応義塾大学)、高橋進(東京大学)、藤原帰一(千葉大学)、吉岡知哉(立教大学)  
(11月末現在判明分)

(1992年度)

大嶽委員長から、研究会のもち方についての改革案の説明があり、それをめぐって意見交換が行われたが、92年度企画委員会で検討を継続することとなった。

(2) 年報委員会

(1990年度)

山口理事長から、年報刊行に向けて作業中であるとの報告が伝えられた。なお関連して、刊行作業継続中の年報委員長が現理事でない場合、理事会にオブザーバーとして出席を求めることができる旨、ルール化することが理事長より提案され、了承された。

(1991年度)

山口理事長から、村松委員長より研究会が予定通り進められているとの連絡があった旨、報告があった。

(1992年度)

藤原委員長から、年報のテーマが「平和の政治思想史的研究」になる旨、報告があった。  
年報委員：飯島昇蔵(早稲田大学)、小笠原弘親(大阪市立大学)、加藤節(成蹊大学)、鴨武彦(東京大学)、木村雅昭(京都大学)、佐々木毅

(東京大学)、佐々木武(東京医科歯科大学)、佐藤正志(東海大学)、千葉真(国際基督教大学)、原彬久(東京国際大学)、吉岡知哉(立教大学)

(3) 文献委員会

(1990年度)

山口理事長から、西田委員長より11月末に原稿が入稿の予定であるとの連絡があった旨、報告があった。

(1991年度)

本田委員長から、12月自己申告書送付、1月末回収、9月原稿完成という作業日程と文献リストに充てる頁数を30頁に縮小する意向である旨の報告があった。

文献委員：秋山和宏(日本大学)、岩井奉信(常盤大学)、浦野起央(日本大学)、大井真二(日本大学)、奥村大作(日本大学)、倉島隆(日本大学)、黒川貢三郎(日本大学)、佐渡友哲(秋田経済法科大学)、杉本稔(日本大学)、関根二三夫(日本大学)、登坂光矢(国土館大学)、藤原孝(日本大学)、山田光矢(国土館大学)和田寛伸(秋田経済法科大学)

(1992年度)

中谷委員長から、文献委員は選考を進めているが年報改革における文献リストの取り扱いの問題もあるのまで、その処理の方向が決まった段階で方針を決定したい、との報告があった。

(4) 渉外委員会

佐々木委員長から、1991年度渉外委員の件、APSAとの交流の継続の件、1991年7月ブエノスアイレスで開催されるIPSA世界大会の件、について報告があった。なお渉外委員会を国際交流委員会に改称することが決定された。

国際交流委員：大河原伸夫(九州大学)、蒲島郁夫(筑波大学)、川人貞史(北海道大学)、佐々木毅(東京大学)、下斗米伸夫(法政大学)、曾根泰教(慶応義塾大学)、高橋進(東京大学)、若田恭二(関西大学)

## (5) 選挙管理委員会

加茂常務理事から、今中委員長より1991年度選挙管理委員の名簿の提出があった旨、報告があった。

選挙管理委員：市川太一（広島修道大学）、今中比呂志（広島大学）、岩田賢司（広島大学）、川崎信文（広島大学）、佐藤幸男（広島大学）、高城和義（広島大学）、高橋進（広

島大学）、林忠行（広島大学）、森邊成一（広島大学）、山本隆基（広島大学）

## (6) 政治学教育・情報に関する臨時委員会

田口委員長から、科研費の交付決定があったこと、政治学教育に関するアンケート調査を集計、分析中であること、科研費によって来年度さらに調査を行う予定であることなどが報告された。

## 1990年度 第6回理事会記録

3月23日(土)、午後1時30分から大阪市立大学文化交流センターにおいて1990年度第6回理事会が開催され、以下の事項が協議・報告された。

### (協議事項)

#### 1. 1991年度研究会のプログラムについて

北岡委員長より企画案（別紙）が提案され、承認された。なお、今年度より、会員の報告者・討論者・司会者への謝礼を廃止し、非会員への謝礼を増額することが同時に決定された。

#### 2. 1992年度総会・研究会の日時等について

10月3日(土)・4日(日)両日、琉球大学および沖縄国際大学で開催されることが決定された。

#### 3. 1993年度総会・研究会開催校について

大東文化大学で開催することが決定された。

#### 4. 年報改革の件

加茂常務理事より、前回理事会と年報改革委員会の論議をふまえ、①年報を92年度より一括買い上げ・会員配布方式に転換する。②これに伴い会費を7500円程度に改訂する。③年報の構成を改め、公募論文を含めた2つの中特集、学界展望、研究会報告要旨で構成することとする。④年報の編集体制を強化し、年報委員は任期2年半数交代制とする。年報委員長となるものの年報委員としての任期は3年とし1・3年目は副委員長を務める。⑤公募論文審査のため、審査委員（レフリー）を設ける。⑥年報の合理的経営をはかるため年報会計を設け、当初財源と

して92年度予算で200万円を一般会計より繰り入れる、など改革方針が提案され、種々論議の結果大筋で承・決定された。なお、会費の改訂については、8000円の方がよいとする意見があり、最終判断は理事長と常務理事に一任することとなった。

#### 5. 1990年度決算の件

加茂常務理事より決算報告が行われ、今村監事の監査報告（水口監事が代読）があり、別紙のとおり承認された。

#### 6. 1991年度予算の件

加茂常務理事より予算案が提案され、別紙のとおり承認された。

#### 7. 基金の整理（国際交流基金の創設）に関する件

1991年度予算との関連で、加茂常務理事より一般会計資産のうち600万円とIPSA基金原資800万円を併せて、国際交流基金を設け、果実をIPSAをふくむ国際交流に運用することが提案され、承認された。

#### 8. 理事選挙の実施に関する件

今中選挙管理委員長より、6月3日～7月3日投票等、選挙日程案が提案され、承認された。

#### 9. 新入会員の承認

下記の5名の入会が承認された。

大西比呂志、慎斗範、新川敏光、樋渡展洋、山口裕司

#### 10. 次回理事会の件

6月22日(土)開催の予定とすることが了承さ

れた。

(報告事項)

1. 学術会議会員候補者・推薦人の選出・委嘱について

山口理事長より、昨年12月に行われた学術会議会員候補選挙の結果、田口理事、山口理事長の2名が会員候補に選出され、これに伴い推薦人を松下、内田両顧問、有賀、佐々木、加茂各理事に、同予備者を藤原理事に委嘱したことが報告された。

2. 各委員会報告

(1) 企画委員会

(1991年度)

- 北岡委員長より、前回理事会議事録の年報委員氏名に次の2名が洩れていたので補充してほしい旨報告された。

坂本多加雄(学習院大学) 中邨章(明治大学)

- 併せて、すでに決定した委員中、久保文明氏(慶応義塾大学)が都合により平島健司氏(東京大学)に交代する件についても報告された承された。

(1992年度)

- 大嶽委員長より研究会の方式について、書面による改革案が提出され、意見交換の上、92年度企画委員会での検討をまって次回理事会で再度議論することになった。

(2) 年報委員会

(1991年度)

村松委員長より、「占領以後」をテーマに執筆者が決まり、執筆がすすんでいる旨報告があった。

(3) 文献委員会

(1991年度)

本田委員長より、自己申告により530点の文献名が上がり、これに他の文献を加えて刷り上がり30ページの範囲で文献リストを作成する方針である旨報告された。

(1992年度)

中谷委員長より、92年度から学界展望に切り替えることとなるため、文献委員の人選もそれに併せて進め、ほぼ完了したこと、などが報告された。

(4) 国際交流委員会

佐々木委員長より、7月ブエノスアイレスで開催されるIPSA大会に本学会から、佐々木委員長の他有賀理事、蒲島理事を代表として派遣したいとの報告があり、了承された。

またAPSAとの交流計画については資金の助成について交渉中であり、4月中旬に結論が得られるはずである旨報告された。

(5) 政治学教育・情報に関する臨時委員会

田口委員長より、科研費の助成が得られ、91年度には政治学会の全会員を対象に調査を行う予定であること、今年度実施した調査は現在とりまとめ中であることなどが報告された。

(6) 選挙管理委員会

今中委員長より、選挙管理委員会に下記の会員を委嘱した旨報告された承された。なお若干名の補充をすることとなった。

高城和義、高橋進、川崎信文、森邊誠一、佐藤幸男(以上広島大学)、市川太一(広島修道大学)

[追記] 前回理事会へ今中委員長より提出された委員氏名のうち、岩田賢治(広島大学)、林忠行(広島大学)両会員に代わって、大西典茂(広島女学院大学)、坪郷実(北九州大学)両会員が選挙管理委員として補充された。

日本政治学会会員数推移

1978.4	760(人)
1979.4	694
1981.4	778
1983.4	814
1985.4	949
1987.4	988
1989.4	1,084
1990.4	1,132
1991.4	1,134

# 学 会 ニ ュ ー ス

1990年度 予算・決算			
		予算額	執行額
収 入	1. 前年度繰越金	8,885,814	8,885,814
	2. 会費収入	3,790,500	3,639,820
	3. 雑収入	130,000	738,989
	収入合計	12,806,314	13,264,623
支	1. 研究会開催費	1,030,000	1,030,000
	A. 研究会準備金	750,000	750,000
	B. 報告者謝礼	280,000	280,000
	2. 委員会経費	530,000	530,000
	A. 年報委員会	120,000	120,000
	B. 企画委員会	160,000	160,000
	C. 文献委員会	150,000	150,000
	D. 国際交流委員会	100,000	100,000
	E. 選挙管理委員会	0	0
	3. 理事会経費	70,000	69,166
出	4. IPSA学会分担金	250,000	240,660
	5. 事務局経費	900,000	849,383
	A. 理事長通信費	60,000	60,000
	B. 運営費	60,000	60,000
	C. 人件費	500,000	500,000
	D. 経常費	280,000	229,383
	6. 名簿作成積立金	250,000	250,000
	7. IPSA関係積立金	100,000	100,000
	8. 選挙管理費	0	0
	9. 会報発行費	350,000	325,093
10. 予備費	9,326,314	179,596	
支出合計	12,806,314	3,573,898	
差引残高			9,690,725

### 別会計(1) 名簿作成積立金

収入	
前年度からの繰越	287,688
本年度積立	250,000
銀行利息	6,334
-----	
合計	544,022
支出	
	208,150
-----	
差引残高	335,872

### 別会計(2) IPSA関係積立金

収入	
前年度からの繰越	736,460
本年度積立	100,000
銀行利息	22,795
-----	
合計	859,255
支出	
	0
-----	
差引残高	859,255

### IPSA基金

収入	
前年度からの繰越	9,022,534
銀行利息	409,323
-----	
合計	9,431,857
支出	
	0
-----	
差引残高	9,431,857

1991年度予算		
		予算額
収 入	1. 前年度繰越金	9,690,725
	2. 会費収入	3,940,000
	3. 雑収入	100,000
	4. IPSA基金から繰入	231,857
収入合計		13,962,582
支	1. 研究会開催費	850,000
	A. 研究会準備金	750,000
	B. 報告者謝礼	100,000
	2. 委員会経費	560,000
	A. 年報委員会	120,000
	B. 企画委員会	160,000
	C. 文献委員会	150,000
	D. 国際交流委員会	100,000
	E. 選挙管理委員会	30,000
	3. 理事会経費	70,000
出	4. IPSA学会分担金	280,000
	5. 事務局経費	820,000
	A. 理事長通信費	60,000
	B. 運営費	60,000
	C. 人件費	500,000
	D. 経常費	200,000
	6. 名簿作成積立金	350,000
	7. IPSA関係積立金	100,000
	8. 選挙管理費	360,000
	9. 会報発行費	350,000
10. 国際交流基金へ繰出	6,000,000	
11. 年報会計準備金	2,000,000	
12. 予備費	2,222,582	
支出合計		13,962,582
差引		0

### 基金予算

①旧IPSA基金中¥8,000,000と一般会計からの繰入れ¥6,000,000計原資¥14,000,000で創設。果実をIPSAを含む国際交流に運用。残金¥231,857は一般会計に繰出す。上半期中に創設予定。年間果実¥500,000-¥900,000を想定し、運営基準を決める。事務局を中心に運営委員会を設ける。

### ②IPSA基金

<収入>	前年度繰越	9,431,857
<支出>	IPSA大会派遣	1,200,000
	(600,000×2人)	
	国際交流基金へ繰出し	8,000,000
	一般会計へ繰出し	231,857
-----		
残高		0

IPSA大会代表派遣後、国際交流基金の創設に伴い、IPSA基金を廃止する。

1991年度研究会プログラム

共通論題A (5日) 日米開戦再考

- 司会 三谷太郎 (東京大学)  
 報告 五百旗頭真 (神戸大学) : 日米戦争の原  
 因  
 御厨 貴 (東京都立大学) : 開戦決定  
 における歴史認識——政策に「歴史」は  
 適用されたか  
 討論 須藤 真志 (京都産業大学)  
 伊藤 隆 (東京大学)

共通論題B (6日) 選挙制度審議会と政治改革

- 司会 内田 満 (早稲田大学)  
 報告 堀江 湛 (慶応義塾大学) : 審議会答  
 申のねらい  
 内田 健三 (東海大学) : 政党間政治と  
 政党内政治  
 佐々木 毅 (東京大学) : 政治資金と選  
 挙活動の規制  
 討論 石川 真澄 (朝日新聞)  
 西平 重喜 (上智大学)

分科会A (5日) 政府と企業

- 司会 大嶽 秀夫 (東北大学)  
 報告 北山 俊哉 (関西学院大学) : 生産組織  
 の政治経済学へ  
 樋渡 展洋 (東京都立大学) : 戦後日本  
 の政治経済体制の定着過程の特質  
 討論 曾根 泰教 (慶応義塾大学)  
 恒川 恵市 (東京大学)

分科会B (5日) 比較の中の近代日本思想—西  
 欧とアジアの視点から

- 司会 松沢 弘陽 (北海道大学)  
 報告 渡辺 浩 (東京大学) : 西欧の「近代  
 思想」と儒学  
 米原 謙 (大阪大学) : 自由民権思想  
 における「主体」意識の形成  
 ——兆民と枝盛の場合  
 討論 坂本多加雄 (学習院大学)  
 中谷 猛 (立命館大学)

分科会C (5日) 民族と統合

- 司会 岡部 達味 (東京都立大学)  
 報告 山影 進 (東京大学) : アジアにお  
 ける民族と国家  
 中井 和夫 (東京大学) : ソビエト政治  
 と民族紛争  
 討論 土屋 健次 (京都大学)

石川 一雄 (八千代国際大学)

分科会D (5日) 政権党の力学—フランスとイ  
 タリアの場合

- 司会 馬場 康雄 (東京大学)  
 報告 野地 孝一 (信州大学) : フランス社会  
 党の党内力学  
 村上信一郎 (中部大学) : イタリア・キ  
 リスト教民衆の党内力学  
 討論 土倉 莞爾 (関西大学)  
 高橋 進 (広島大学)

分科会E (6日) 税制改革と行政変化…国際比  
 較の視点から

- 司会 中邨 章 (明治大学)  
 報告 武藤 博巳 (法政大学) : イギリスの税  
 制改革とそのインパクト  
 新川 達郎 (東北学院大学) : 消費税導  
 入と地方行政  
 討論 橋本 信之 (関西学院大学)  
 竹下 譲 (拓殖大学)

分科会F (6日) 近代政治思想における「家」

- 司会 小笠原弘親 (大阪市立大学)  
 報告 杉田 孝夫 (お茶の女子大学) : 18世紀  
 ドイツ啓蒙における家族と政治社会  
 吉岡 知哉 (立教大学) : 啓蒙期フラン  
 スにおける「家」観念と政治思想  
 討論 佐々木 武 (東京医科歯科大学)  
 竹中 浩 (大阪大学)

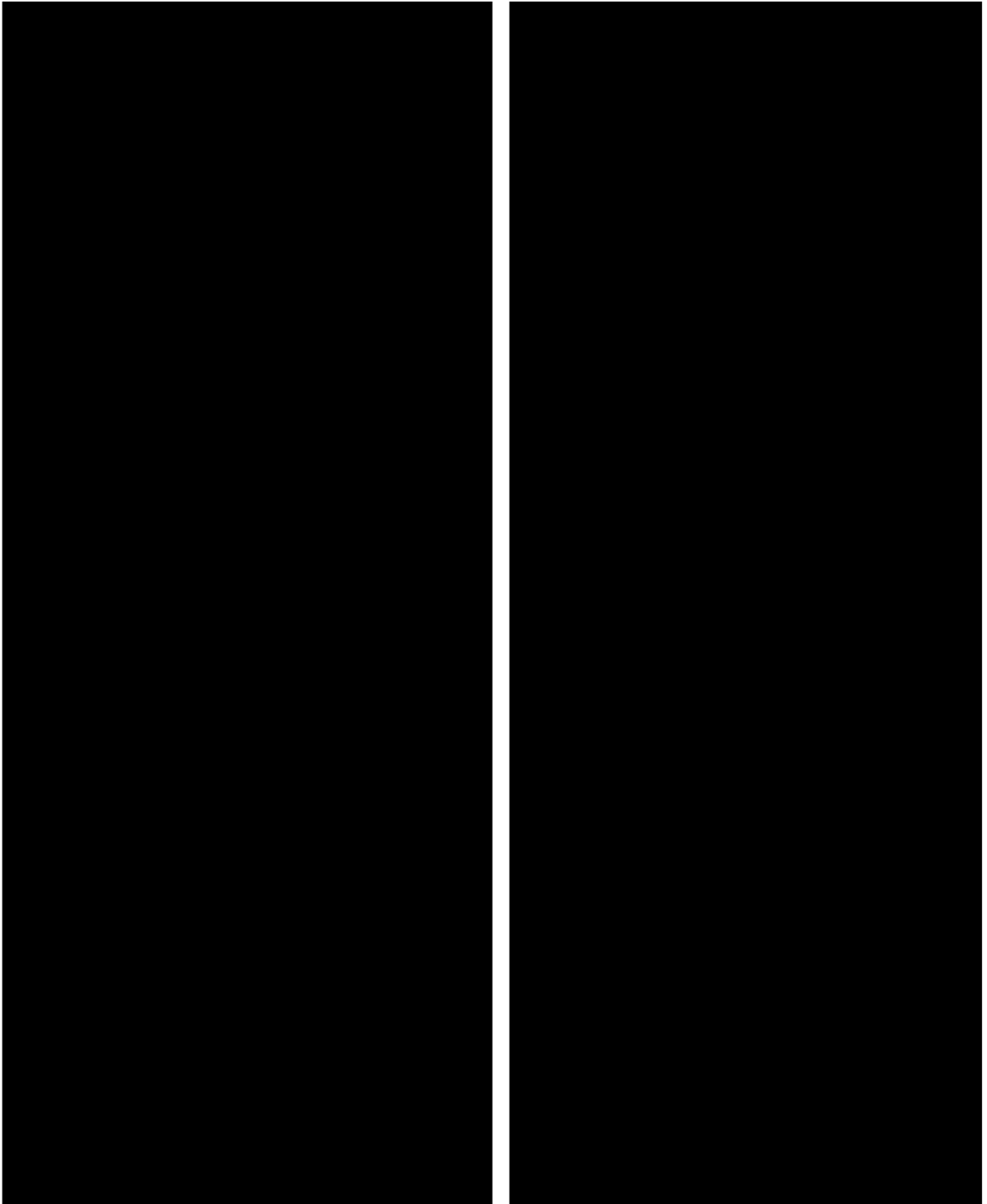
分科会G (6日) 移民と政治

- 司会 有賀 弘 (東京大学)  
 報告 古矢 旬 (北海道大学) : アメリカに  
 おけるエスニシティ理論と政治  
 梶田 孝道 (津田塾大学) : EC統合と  
 移民問題  
 討論 李 光一 (桜美林大学)  
 坪郷 實 (北九州大学)

分科会H (6日) 民主化過程の体制と運動

- 司会 萩原 宣之 (獨協大学)  
 報告 大串 和雄 (山形大学) : ラテンアメリ  
 カにおける左翼知識人と民主化  
 国分 良成 (慶応義塾大学) : 中国にお  
 ける社会運動と民主化  
 討論 松下 洋 (南山大学)  
 野村 浩一 (立教大学)

会 員 の 異 動 (91.5.10現在)

The table content is completely redacted with black bars, obscuring all data.



**修補名簿の補正とお詫び**

事務局のミスにより、下記の会員のお名前と記事が1989年度第2回理事会記録の入会承認者名および90年10月発行の修補名簿より脱落しております。お詫び申し上げますとともに改めて補正させていただきます。

八尾師 誠 206 東京都稲城市向陽台5-9-4-109 TEL 0423-77-3748 1950年生  
東京外国語大学外国語学部助教授  
〒114 東京都北区西ヶ原4丁目51-21  
TEL03-3917-6111 イラン近現代史

事 務 局 よ り

会費納入についてのお願い

新年度にあたり、会費（3,500円）を同封の振込用紙にてお支払い下さいますよう、お願い申し上げます。なお、前年度会費が未納の会員には、2年度分（7,000円）印刷済みの振込用紙が同封されておりますのでご了承下さい。

関連学会の研究会開催予定

- ・政治思想史研究会（CSPT JAPAN） 第3回  
研究集会  
日 時：1991年6月15日（土）16日（日）  
会 場：東京大学 山上会館  
共通テーマ：体制と構想（Political Institution and Political Imagination）
- ・第16回社会思想史学会大会  
日 時：1991年10月5日（土）6日（日）  
会 場：福島大学

異動の連絡・再入会についてのお願い

- 名簿記載事項に変更があったばあいは事務局までご一報下さい。

90年度は、年度末に会費2年度分滞納のため、会員資格をなくされた方が相当数生じましたが、その多くは転居で事務局からの発送物が届かなくなった方々です。とくに住所変更については必ずご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

会費納入の際に振替用紙の通信欄をご利用いただくと便利です。

- 退会扱いとなった方で再入会を希望される方は前会員時の滞納分を添え再入会手続きをおとりいただくこととなりますので、ご了承下さい。また、周囲に上記のような事情で会員資格をなくされた方がおられましたら、再入会をお勧め下さい。

訃 報

昨年11月、横越英一元理事長が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

横越英一氏（名古屋大学名誉教授） 1991年11月17日没。比較政治制度論・政党論専攻、1920年生まれ。

役職：理事長 1978-80年 理事 1964-74年

1991年5月30日

発行 日本政治学会事務局

加 茂 利 男

〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学法学部内

TEL.06-605-2336

郵便振替番号 東京0-84250

加入者名 日本政治学会

印 刷 日幸印刷株式会社